



大阪府内で初！

小児予防接種の予診票をデジタル化



母子手帳アプリ「母子モ」
をダウンロードして利用

デジタル予診票なら
予防接種がカンタンに！

もう紙の予診票提出は
いりません！

面倒な予診票の記入は
アプリでラクラク！

難しい接種スケジュールは
アプリに全部お任せ！

複数ワクチンの予診票へ一括入力！
さらに住所などは自動入力！



これまで何枚もの予診票を記入する必要がありました
が、デジタル予診票なら一括入力&自動入力でもって
カンタンに♪

お子さまの接種歴が自動反映され、
いつ何を打てばいいかを自動表示！



ワクチンごとに「接種時期」「接種間隔」が違う
ので自分でスケジュールを立てるのは大変…
でもアプリを使えば全自動でもってカンタン♪

概要説明

小児予防接種における予診票を、大阪府内の自治体で初めてデジタル化！

「紙の予診票は、もういらない！」保護者、医療機関、自治体の3者の手間を少なくします。

四條畷市では、母子手帳アプリ「なわてっこナビ」に、新たに予診票をデジタル化する機能を追加し、令和6年2月1日(木)から市内の3つの医療機関で運用をスタートします。小児予防接種におけるデジタル予診票の運用は、大阪府内の自治体で初めての取り組みです。

・今回の予診票デジタル化の対象

市内に住民票のある平成24年4月2日以降に生まれた子ども(0~11歳：約4,800人)

予診票をデジタル化すると…

これまで 住所・氏名・生年月日等の基本情報や問診項目への回答を紙の予診票に手書きで記入し
医療機関へ提出

2月1日~ 予診票の内容をスマートフォンなどから入力し医療機関にデータで提出
予診票と接種記録がデジタル化される

予診票デジタル化のメリット「みんなの手間を少なく！」

①保護者にとっては…

◆住所や氏名などの基本情報が自動入力され、複数の予防接種を同時に接種する際も、重複している項目は一括での入力が可能に！



◆接種記録のデジタル化によって、これまでアプリに自身で入力していた接種履歴が自動反映され、煩雑な予防接種スケジュールを自動作成してくれる機能も。

②医療機関にとっては…

◆予診票のチェックや管理をデジタル化することで、複数枚の予診票も一括で確認できる。対象年齢の確認や接種間隔をシステム上で管理するため、接種間違いも防止できる。

◆自治体への請求金額を自動計算でき、請求事務を効率化。

③自治体にとっては…

◆事務の効率化（従来、予診票のデータは、医療機関から届く紙の予診票から、接種歴などを予防接種台帳システムへ手入力していた。デジタル化により、システムから CSV を出力し、予防接種台帳システムへアップロードすることで、予防接種台帳へのデータ入力が一括で可能に。）

実施医療機関：市内 3 医療機関

(安部クリニック、いるかこどもクリニック、みyaiファミリークリニック)

※市内の小児予防接種実施医療機関は 12 医療機関ありますが、令和 5 年度は、まず市内全体の小児予防接種件数の約 8 割を実施している 3 医療機関から運用を開始し、次年度以降、デジタル予診票利用可能医療機関の拡大に努めます。

事業の背景（四條畷市の子育て支援と「なわてっこナビ」）

四條畷市では、妊娠・出産期から切れめなく、親子の健康確保に努め、保護者が安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいます。その施策のひとつとして、令和 2 年 6 月から母子手帳アプリ「なわてっこナビ」を提供し、子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境づくりをサポートしてきました（令和 5 年 12 月末時点で 898 人が登録）。今回、保護者がより便利に手続きができる仕組みづくりとして、予診票をデジタル化しました。

「なわてっこナビ」の機能

妊産婦と子どもの健康データの記録・管理、予防接種のスケジュール管理、出産育児に関するアドバイスの提供、地域情報のお知らせなど、

問い合わせ

電話 072-877-1231 または 072-877-2121（内線 426）

四條畷市立保健センター 平松、北村、高岡